

思

彼らの胸の内は…

未来を担う8人にインタビュー

汗にまみれ、厳しい稽古を続ける8人。
和太鼓の何が彼らをそこまでかりたてるのか——
それぞれの、和太鼓にかける「思い」を聞いた。



佐藤 毅さん

(39歳・上区)

しんのある音！
課題は山積み！

太鼓に向かっていると1人の世界に入ってしまう。それは自分にとってはいいことなのですが、和太鼓はメンバー全員で見せるものなので、メンバーにとっては良くないことなんです。正直そんな葛藤もあります。

ステージでやりきったとき、何ともいえない達成感があります。それがうれしくて、「よし！次も頑張ろう」と思うんです。でも、結局発表の後は、毎回課題が残ります。これからは稽古に励み「音で聞かせて、体で見せる」「しんのある音を出す」ことを目標に頑張ります。8人の中では1番年上なので、盛り上げていきたいと思っています。



野田口純一さん

(35歳・旭日区)

メンバーに感謝
日々成長を実感

和太鼓は「自分を写す鏡」のようなものだと思います。自分に自信がなく落ち込んでいたとき、メンバーに誘われ、始めました。和太鼓を紹介してくれたメンバーには感謝しています。

いろんな環境でやっているのは、自分のためになっていると日々実感しています。なぜか、稽古場に入ると和太鼓に向かって「よろしくお願いします」と言ってしまう。手甲を巻いて、足袋を履いて、稽古着を着た瞬間「さあ、やるぞ」と気合いが入ります。自分はチャンスをもたらさと思っています。これからは和太鼓を通して自分を磨いていきたいですね。今この仲間が自分の財産です。



三船 洋介さん

(27歳・中央区)

和太鼓は奥深く
自分を磨くもの

和太鼓がマジで楽しいです。100回打って1回合うかどうか分からない。それぐらい和太鼓は奥が深く難しい楽器だと思います。

発表会で自分が納得できなかったとき、皆さんから拍手をもらっても情けないと感じるときがあります。だからもっとうまくなりたいと稽古を続けます。和太鼓は音だけではなく、見せなければなりません。まだまだ課題だらけです。

正直、メンバーとけんかもしました。でも、いろんな意見があって当たり前ですし、それもこれもお互いが理解し合っただけのことです。今の自分にとって和太鼓とは「自分を磨けるもの」だと思っています。



羽場はるかさん

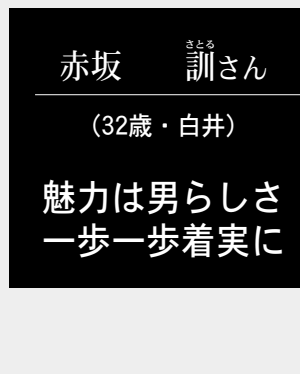
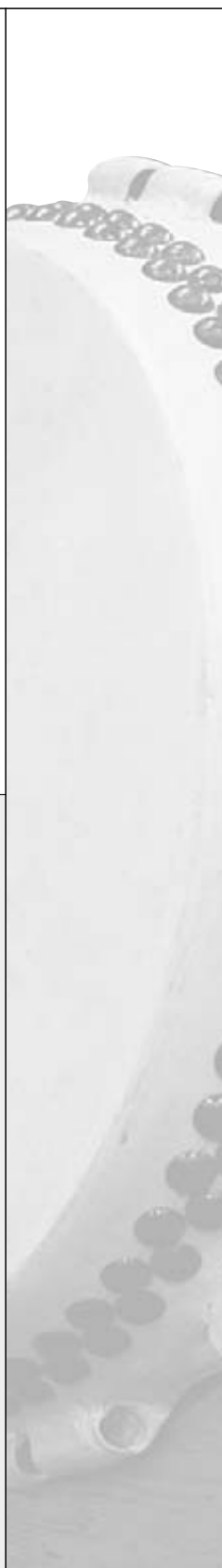
(18歳・中央区)

稽古日が楽しみ
それぐらい好き

私が和太鼓を始めたのは、高校1年のときでした。初めての発表は2年前のふだいまるごと海産まつりでした。みんなが一つになって、音がそろったときなんか感動ですよ。なんか打てる自分が楽しくなってきました。

だから、ときどき家でも稽古します。お風呂で手を挙げる稽古や、部屋に古タイヤも置いて稽古しています。イメージトレーニングは大切だと思っています。稽古日が本当に楽しみです。それぐらい好きなんです。

3月に高校卒業し、普代を離れてしまいます。でも、また戻って来て、必ず和太鼓を続けます。



赤坂 訓さん

(32歳・白井)

魅力は男らしさ
一步一步着実に

自分は、野田口さんに誘われて始めました。ふだい荒磯太鼓を見ていてひそかにあこがれていました。太鼓は男らしさが魅力です。そこに自分に足りないものがあつたからかもしれません。仲間たちが曲を覚えるのが早いので、今は追い付いていくだけで精いっぱいです。

発表は毎回緊張しています。稽古でも100%できないので、不安のまま本番を迎えています。最低限みんなの足を引っ張らないように頑張っています。大変だと思うときもあります。プレッシャーもあります。納得することはありません。今後は一つ一つ自分の目標をクリアしていきたいです。



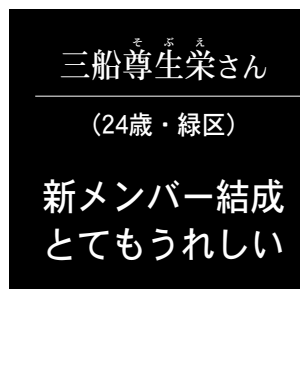
三田地勇治さん

(31歳・中央区)

人を感動させる
打ち手を目指す

今は大太鼓を担当していますが、常に空気をつくらなければならない役割で、「静」から「動」への動きが難しいです。曲の最初に自分だけ立ち上がる動作があるんですが、失敗したらまずいと思い、とにかく「集中」を心掛けています。

和太鼓を始めて「あれでもやればできるんだ」「こんなに頑張れたんだ」と自分自身に少しずつ自信がついてきました。今は体力、打つ技術、音で聞かせて体で見せる技術、すべて課題だらけです。だから、体で覚えられるように稽古を重ねるだけです。いつの日か必ず、人を感動させられる打ち手になりたいと思っています。



三船尊生栄さん

(24歳・緑区)

新メンバー結成
とてもうれしい

中学生のとき、ふだい荒磯太鼓の子ども組で締太鼓を打っていました。いつかまたやりたいと思っていたので、今回新メンバーを結成できてとてもうれしいです。

このメンバーは何でも言い合える仲間。お互いの悪いところを平気で言い合ったりしていますよ。それができるのも、同じ目標に向かってるからだと思います。高校生から50代と年代も幅広いんで、それぞれの話を聞くと勉強になります。発表会などで「良かったよー」と声を掛けてもらって、すごくうれしいです。それが励みにもなっています。本当にいいチームができたと思います。



畑村 愛香さん

(18歳・野田村)

普代が大好き！
和太鼓大好き！

同級生のはるかちゃんに誘われ、和太鼓を始めました。野田村なのに皆さんは本当に優しくしてくれます。だから、毎週金曜の稽古日がすごく楽しみなんです。最初は稽古も発表もプレッシャーでした。でも、無我夢中で稽古して、頑張っ、最近やっとうまく打てるようになりました。達成感っていうか、楽しいんです。でも、毎回反省点はありますが…。

あるとき、みんなが私に内緒で誕生会をしてくれました。とてもうれしかったです。でも、高校を卒業したらみんなと離れてしまいます。寂しいですが、成長して必ず戻ってきます。普代が大好き、和太鼓が大好きです。